

第25回 Y-PORTワークシヨップ

世界が注目、南太平洋島嶼国のハブ都市！

～ フィジー共和国スバ市の可能性 ～

日頃より、公民連携による国際技術協力「Y-PORT事業」を通じた海外インフラビジネスの推進に向け、ご協力をいただきありがとうございます。

横浜市は、アジア開発銀行(ADB)が、途上国の中で特に将来性を有する都市を対象に、スマート技術等の活用を図りながら現在推進している『Future Cities Program(※裏面参照)』に協力しています。

フィジーは、海面上昇など、気候変動の影響が特に深刻な南太平洋の島々(22の国・地域)のリーダー的な役割を果たし、昨年のCOP23では議長国を務めたほか、上記Future Citiesの一つにも選ばれるなど、近年、国際的なプレゼンスを高めています。

また、我が国と同じ島国であり、資源に乏しいフィジーでは、日本の省エネ、環境、スマート技術等に対する期待が高まっています。

フィジーの市場規模(ほぼ四国と同じ)は決して大きくはありません。その一方、コンパクトかつ高機能な技術を有する市内企業にとっては、この大きすぎないマーケット自体が大企業との競争面などでプラスとなる可能性があるほか、フィジーを起点に他の島国にビジネスを展開していくことも期待できます。

そこで、今回は、横浜のインフラ技術とのマッチング可能性を視野に入れながら、本年2月に実施した現地ニーズ調査の結果を皆様にご報告するとともに、本年5月、ADBの主催により、フィジーの首都スバ市で開催される『ADB Future Cities Workshop』へのご案内をいたします。

日 時：平成30年4月18日(水) 14:00～16:00(13:45開場)

場 所：横浜国際協力センター6階共用会議室

参加費：無料／要事前申込、先着50名程度

主 催：横浜市国際局

その他：プログラムおよび参加申込方法は裏面を参照ください。

第25回 Y-PORTワークショップ

* 日時：平成30年4月18日（水）14:00～16:00（13:45開場）

* 場所：横浜国際協力センター 6階共用会議室

【プログラム】（予定）

- | | | |
|-------|------------------------------|------------------------------|
| 14:00 | 開会、横浜市国際局長あいさつ | |
| 14:10 | 本年度Y-PORT事業の展開について | ・横浜市国際局 |
| 14:20 | フィジーの事前調査結果報告 | ・海外環境協力センター（OECC）
・横浜市国際局 |
| 15:20 | 『Future Cities Workshop』のご案内 | ・海外環境協力センター（OECC） |
| 15:50 | 質疑応答 | |
| 16:00 | 終了、名刺交換会 | |

【参加お申込方法】（参加者間で参加者名簿を共有しますので予めご了承のほどお願いいたします）

- ・お名前、企業名、部署名、お役職、メールアドレス、電話番号
 - ・横浜市内の拠点（本社、その他）の有無
 - ・中小企業に該当、又は非該当・横浜市及び市内企業との連携の検討の有無
- を記載の上、ki-yport@city.yokohama.jpまで電子メールを御送信ください。

【会場】横浜国際協力センター

6階共用会議室（西区みなとみらい1-1-1）

■みなとみらい駅（みなとみらい線）

クイーンズスクエア連絡口 徒歩7～8分程度

■関内駅

（JR線、市営地下鉄ブルーライン）

徒歩13～14分程度



【フィジー概要】

- ・人口：89万人 ・面積：1万8270㎡（四国と同じ）
- ・GNI(1人当たり)：4830ドル【2015、世銀】
- ・GDP 実質成長率：3.9%【2016、世銀】
- ・対日貿易； 輸出:56.3億円（木材チップ、マグロなど）
輸入:74.9億円（自動車など）
- ・主要援助国； ①豪州（49.68）
②EU（8.02）
③日本（7.93）百万ドル

【ADB Future Cities Program】

- ・ADBがアジア太平洋の都市の中で中期的に成長が見込まれる都市を選定。スバ以外の選定都市は、トビリシ、ウランバートル、マンダレイなど。

